

# 日本火葬技術管理士会

# 新型コロナウイルスへの火葬場での対応



三木求会長



玉寄将副会長

一般社団法人の日本火葬技術管理士会は、新型コロナウイルスでなくなった火葬場への対応に、火葬技術管理士にアンケート調査を実施した。今秋の「生活と環境全国大会(主催・日本環境衛生センター)の併催行事、日本火葬フォーラム」調査報告を予定であったが、新型コロナウイルス感染防止のため中止となったことから、オンラインの形で発表した。本稿で、その調査結果の概要を紹介する。

**1. アンケート調査の趣旨と経緯**

今回のアンケート調査は、新型コロナウイルスに対する火葬場の対応に、2021年8月6日から31日までの約1ヶ月間、全国の正会員、助会員に調査票配布し、その協力を得て実施したものである。回答数は1,055件であった。

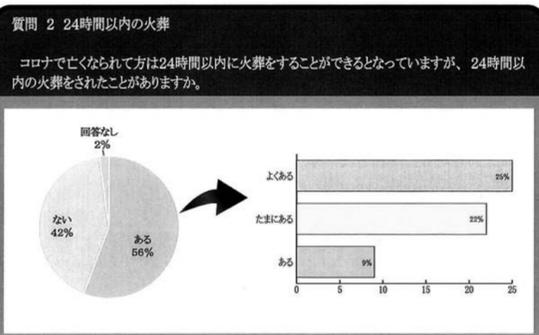
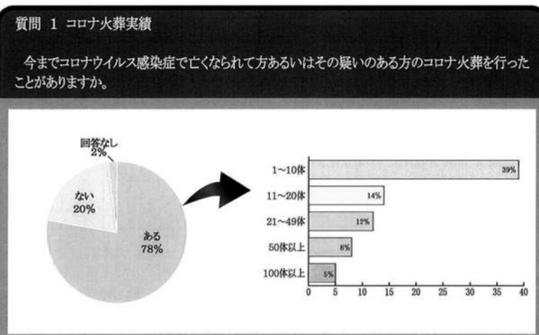
**2. アンケート調査結果のポイント**

**質問1**「今までコロナウイルス感染症で亡くなった方があるいはその疑いのある方の火葬を行ったことがありますか。」

回答は78%だった。日本環境衛生協会が20年度に行ったアンケート調査では「行ったが22%となっており、今年度はその割合が急速に高まったことを示している。

**質問2**「コロナで亡くなった方は24時間以内に火葬をされたことがありますか。」

24時間以内の火葬をされたことがあり、かつ聞いたことがあるという回答は56%である。実際の火葬場がコロナ関連で稼働していることが確認されている。また、火葬場がコロナ関連で稼働していない場合、火葬を受け入れられないという回答も多かった。



## 「コロナ火葬」78%が「ある」と回答

## 火葬技術管理士にアンケート調査

「事前研修等を行っていないが、48%の対応が分からない」という回答も多かった。火葬技術管理士にアンケート調査を行ったところ、火葬場での対応状況は、全国的に「ある」と回答する割合が78%に達している。これは、2020年度の調査結果と比較して、顕著な増加を示している。また、火葬場がコロナ関連で稼働していることが確認されている。また、火葬場がコロナ関連で稼働していない場合、火葬を受け入れられないという回答も多かった。

**質問3**「一般火葬(コロナ火葬以外)を行う時、火葬場への入場を制限していますか。」

この回答は43%であった。制限しているという回答は、制限していないという回答よりも多かった。制限している場合、制限の方法は、事前予約制、事前検温、マスク着用、手洗いの徹底など、多岐にわたっている。制限していない場合、理由として、火葬場が稼働していないため、火葬を受け入れられないという回答も多かった。

**質問4**「コロナ火葬を行う時、火葬場への入場を制限していますか。」

この回答は66%であった。制限しているという回答は、制限していないという回答よりも多かった。制限している場合、制限の方法は、事前予約制、事前検温、マスク着用、手洗いの徹底など、多岐にわたっている。制限していない場合、理由として、火葬場が稼働していないため、火葬を受け入れられないという回答も多かった。

**質問5**「火葬場への立ち入りを禁止した例も何カ所かあり、火葬場運営に際し、これに十分注意している。」

この回答は78%であった。十分注意しているという回答は、十分注意していないという回答よりも多かった。十分注意している場合、注意の方法は、事前予約制、事前検温、マスク着用、手洗いの徹底など、多岐にわたっている。十分注意していない場合、理由として、火葬場が稼働していないため、火葬を受け入れられないという回答も多かった。

**質問6**「コロナ火葬を行うに際し、事前にコロナで亡くなった方との連絡がありますか。」

この回答は41%であった。連絡があるという回答は、連絡がないという回答よりも多かった。連絡がある場合、連絡の方法は、事前予約制、事前検温、マスク着用、手洗いの徹底など、多岐にわたっている。連絡がない場合、理由として、火葬場が稼働していないため、火葬を受け入れられないという回答も多かった。

**質問7**「コロナ火葬を行うに際し、事前に研修等を行っていますか。」

この回答は32%であった。研修等を行っているという回答は、研修等を行っていないという回答よりも多かった。研修等を行っている場合、研修の内容は、事前予約制、事前検温、マスク着用、手洗いの徹底など、多岐にわたっている。研修等を行っていない場合、理由として、火葬場が稼働していないため、火葬を受け入れられないという回答も多かった。

**質問8**「火葬場への立ち入りを禁止した例も何カ所かあり、火葬場運営に際し、これに十分注意している。」

この回答は78%であった。十分注意しているという回答は、十分注意していないという回答よりも多かった。十分注意している場合、注意の方法は、事前予約制、事前検温、マスク着用、手洗いの徹底など、多岐にわたっている。十分注意していない場合、理由として、火葬場が稼働していないため、火葬を受け入れられないという回答も多かった。

**3. アンケートを踏まえた所見**

本アンケート調査の結果を踏まえて、火葬技術管理士にコロナ火葬に関するアンケート調査を実施し、次のようなことが考えられる。

厚労省・経産省からガイドラインが発表されてから1年以上が経過している。この間、各地の火葬技術管理士は、過酷な年を乗り越えてきた。しかし、火葬技術管理士は、火葬場での対応状況は、全国的に「ある」と回答する割合が78%に達している。これは、2020年度の調査結果と比較して、顕著な増加を示している。また、火葬場がコロナ関連で稼働していることが確認されている。また、火葬場がコロナ関連で稼働していない場合、火葬を受け入れられないという回答も多かった。

**(1) 現場の火葬技術管理士への不安**

火葬技術管理士は、火葬場での対応状況は、全国的に「ある」と回答する割合が78%に達している。これは、2020年度の調査結果と比較して、顕著な増加を示している。また、火葬場がコロナ関連で稼働していることが確認されている。また、火葬場がコロナ関連で稼働していない場合、火葬を受け入れられないという回答も多かった。

**(2) 火葬場での対応状況**

火葬場での対応状況は、全国的に「ある」と回答する割合が78%に達している。これは、2020年度の調査結果と比較して、顕著な増加を示している。また、火葬場がコロナ関連で稼働していることが確認されている。また、火葬場がコロナ関連で稼働していない場合、火葬を受け入れられないという回答も多かった。

**(3) コロナ火葬の対応**

コロナ火葬の対応は、全国的に「ある」と回答する割合が78%に達している。これは、2020年度の調査結果と比較して、顕著な増加を示している。また、火葬場がコロナ関連で稼働していることが確認されている。また、火葬場がコロナ関連で稼働していない場合、火葬を受け入れられないという回答も多かった。

**(4) 火葬場への立ち入りを禁止した例も何カ所かあり、火葬場運営に際し、これに十分注意している。**

この回答は78%であった。十分注意しているという回答は、十分注意していないという回答よりも多かった。十分注意している場合、注意の方法は、事前予約制、事前検温、マスク着用、手洗いの徹底など、多岐にわたっている。十分注意していない場合、理由として、火葬場が稼働していないため、火葬を受け入れられないという回答も多かった。

**(5) データ分析から見えてくること**

データ分析から見えてくることは、火葬場での対応状況は、全国的に「ある」と回答する割合が78%に達している。これは、2020年度の調査結果と比較して、顕著な増加を示している。また、火葬場がコロナ関連で稼働していることが確認されている。また、火葬場がコロナ関連で稼働していない場合、火葬を受け入れられないという回答も多かった。

「事前研修等を行っていないが、48%の対応が分からない」という回答も多かった。火葬技術管理士にアンケート調査を行ったところ、火葬場での対応状況は、全国的に「ある」と回答する割合が78%に達している。これは、2020年度の調査結果と比較して、顕著な増加を示している。また、火葬場がコロナ関連で稼働していることが確認されている。また、火葬場がコロナ関連で稼働していない場合、火葬を受け入れられないという回答も多かった。

**(1) 現場の火葬技術管理士への不安**

火葬技術管理士は、火葬場での対応状況は、全国的に「ある」と回答する割合が78%に達している。これは、2020年度の調査結果と比較して、顕著な増加を示している。また、火葬場がコロナ関連で稼働していることが確認されている。また、火葬場がコロナ関連で稼働していない場合、火葬を受け入れられないという回答も多かった。

**(2) 火葬場での対応状況**

火葬場での対応状況は、全国的に「ある」と回答する割合が78%に達している。これは、2020年度の調査結果と比較して、顕著な増加を示している。また、火葬場がコロナ関連で稼働していることが確認されている。また、火葬場がコロナ関連で稼働していない場合、火葬を受け入れられないという回答も多かった。

**(3) コロナ火葬の対応**

コロナ火葬の対応は、全国的に「ある」と回答する割合が78%に達している。これは、2020年度の調査結果と比較して、顕著な増加を示している。また、火葬場がコロナ関連で稼働していることが確認されている。また、火葬場がコロナ関連で稼働していない場合、火葬を受け入れられないという回答も多かった。

**(4) 火葬場への立ち入りを禁止した例も何カ所かあり、火葬場運営に際し、これに十分注意している。**

この回答は78%であった。十分注意しているという回答は、十分注意していないという回答よりも多かった。十分注意している場合、注意の方法は、事前予約制、事前検温、マスク着用、手洗いの徹底など、多岐にわたっている。十分注意していない場合、理由として、火葬場が稼働していないため、火葬を受け入れられないという回答も多かった。

**(5) データ分析から見えてくること**

データ分析から見えてくることは、火葬場での対応状況は、全国的に「ある」と回答する割合が78%に達している。これは、2020年度の調査結果と比較して、顕著な増加を示している。また、火葬場がコロナ関連で稼働していることが確認されている。また、火葬場がコロナ関連で稼働していない場合、火葬を受け入れられないという回答も多かった。

「事前研修等を行っていないが、48%の対応が分からない」という回答も多かった。火葬技術管理士にアンケート調査を行ったところ、火葬場での対応状況は、全国的に「ある」と回答する割合が78%に達している。これは、2020年度の調査結果と比較して、顕著な増加を示している。また、火葬場がコロナ関連で稼働していることが確認されている。また、火葬場がコロナ関連で稼働していない場合、火葬を受け入れられないという回答も多かった。

**(1) 現場の火葬技術管理士への不安**

火葬技術管理士は、火葬場での対応状況は、全国的に「ある」と回答する割合が78%に達している。これは、2020年度の調査結果と比較して、顕著な増加を示している。また、火葬場がコロナ関連で稼働していることが確認されている。また、火葬場がコロナ関連で稼働していない場合、火葬を受け入れられないという回答も多かった。

**(2) 火葬場での対応状況**

火葬場での対応状況は、全国的に「ある」と回答する割合が78%に達している。これは、2020年度の調査結果と比較して、顕著な増加を示している。また、火葬場がコロナ関連で稼働していることが確認されている。また、火葬場がコロナ関連で稼働していない場合、火葬を受け入れられないという回答も多かった。

**(3) コロナ火葬の対応**

コロナ火葬の対応は、全国的に「ある」と回答する割合が78%に達している。これは、2020年度の調査結果と比較して、顕著な増加を示している。また、火葬場がコロナ関連で稼働していることが確認されている。また、火葬場がコロナ関連で稼働していない場合、火葬を受け入れられないという回答も多かった。

**(4) 火葬場への立ち入りを禁止した例も何カ所かあり、火葬場運営に際し、これに十分注意している。**

この回答は78%であった。十分注意しているという回答は、十分注意していないという回答よりも多かった。十分注意している場合、注意の方法は、事前予約制、事前検温、マスク着用、手洗いの徹底など、多岐にわたっている。十分注意していない場合、理由として、火葬場が稼働していないため、火葬を受け入れられないという回答も多かった。

**(5) データ分析から見えてくること**

データ分析から見えてくることは、火葬場での対応状況は、全国的に「ある」と回答する割合が78%に達している。これは、2020年度の調査結果と比較して、顕著な増加を示している。また、火葬場がコロナ関連で稼働していることが確認されている。また、火葬場がコロナ関連で稼働していない場合、火葬を受け入れられないという回答も多かった。

「事前研修等を行っていないが、48%の対応が分からない」という回答も多かった。火葬技術管理士にアンケート調査を行ったところ、火葬場での対応状況は、全国的に「ある」と回答する割合が78%に達している。これは、2020年度の調査結果と比較して、顕著な増加を示している。また、火葬場がコロナ関連で稼働していることが確認されている。また、火葬場がコロナ関連で稼働していない場合、火葬を受け入れられないという回答も多かった。

**(1) 現場の火葬技術管理士への不安**

火葬技術管理士は、火葬場での対応状況は、全国的に「ある」と回答する割合が78%に達している。これは、2020年度の調査結果と比較して、顕著な増加を示している。また、火葬場がコロナ関連で稼働していることが確認されている。また、火葬場がコロナ関連で稼働していない場合、火葬を受け入れられないという回答も多かった。

**(2) 火葬場での対応状況**

火葬場での対応状況は、全国的に「ある」と回答する割合が78%に達している。これは、2020年度の調査結果と比較して、顕著な増加を示している。また、火葬場がコロナ関連で稼働していることが確認されている。また、火葬場がコロナ関連で稼働していない場合、火葬を受け入れられないという回答も多かった。

**(3) コロナ火葬の対応**

コロナ火葬の対応は、全国的に「ある」と回答する割合が78%に達している。これは、2020年度の調査結果と比較して、顕著な増加を示している。また、火葬場がコロナ関連で稼働していることが確認されている。また、火葬場がコロナ関連で稼働していない場合、火葬を受け入れられないという回答も多かった。

**(4) 火葬場への立ち入りを禁止した例も何カ所かあり、火葬場運営に際し、これに十分注意している。**

この回答は78%であった。十分注意しているという回答は、十分注意していないという回答よりも多かった。十分注意している場合、注意の方法は、事前予約制、事前検温、マスク着用、手洗いの徹底など、多岐にわたっている。十分注意していない場合、理由として、火葬場が稼働していないため、火葬を受け入れられないという回答も多かった。

**(5) データ分析から見えてくること**

データ分析から見えてくることは、火葬場での対応状況は、全国的に「ある」と回答する割合が78%に達している。これは、2020年度の調査結果と比較して、顕著な増加を示している。また、火葬場がコロナ関連で稼働していることが確認されている。また、火葬場がコロナ関連で稼働していない場合、火葬を受け入れられないという回答も多かった。

## 住み良い豊かな環境を創る

# 株式会社 開邦工業

私達は、地域に寄り添う企業です。

代表取締役 玉寄 将

火葬炉の設計・施工、メンテナンス、機器点検から運転指導、斎場運営まで。

|         |                          |               |
|---------|--------------------------|---------------|
| 本社      | ／沖縄県うるま市字州崎7番地19         | ☎098-934-2811 |
| 本店      | ／沖縄県沖繩市中央3丁目21番5号        | ☎098-923-2001 |
| プラント事業部 | ／沖縄県沖繩市泡瀬4丁目23番10号1B     | ☎098-923-4220 |
| 東京支社    | ／東京都港区芝2丁目6番3号6階         | ☎03-5730-3921 |
| 東北支社    | ／宮城県仙台市泉区七北田字杉ノ田13番地7207 | ☎022-341-8095 |

## 葬祭業界ニュース

超高齢社会を迎えるわが国では、核家族化や地域社会の弱体化など社会構造が変化する中で、葬祭のあり方も大きく変化しようとしている。海洋散骨を希望する人も多く、それに対応する散骨をする事業者も増えている。散骨船を所有する事業者の集まり全国海洋船散骨協会は2016年に設立、海洋散骨ディレクターの認定や証明書の発行などを行っている。一方、散骨業者を中心とする日本海洋散骨協会では、独自のルールブックを定め事業者の登録や公表を行っている。海洋散骨や陸上散骨(樹木葬)については、一部の自治体の条例や要綱で規制されているのみで、墓地埋葬法の規定があいまい。ルール違反の事業者が多く出てくると大きな社会問題になる可能性がある。

IT化の普及で、葬儀のあり方も激変している。オンラインで葬儀、会葬を行い、葬儀のオンライン中継を始め、供花や弔電、香典の預かりなどをクレジットカード決済できるサービスが出てきた。また、ウェブによる各宗派のお坊さんの手配、各種戒名授与の手配、位牌や仏壇もネットやカタログ通販するサービスも出ている。これまでの不透明なサービス内容やあり方を変えたいとの考えで寄り添う葬儀サービスが伸び、格安の葬儀サービスを提供する業者が新規参入している。従来の葬祭業者は、伝統と文化を軽視した最近のオンラインサービスには顔をしかめている。

展示会分野では、来年8月に葬儀の専門展であるエンディング産業展が東京ビッグサイトで開催され、5月には横浜で同様の展示会が開催される。多様化する終活産業は新規参入のチャンスと宣伝している。